

取扱説明書

Ver. 1.0

型番: GRND-SPK S50

LEDライト付き2.1chミニスピーカー



もくじ	ページ
安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	5
パッケージ内容	6
電源の接続	7
使いかた	8
使いかた(パソコンで使う)	17
Bluetoothについて	19
お手入れ	19
故障かなと思ったら	20
商品仕様	22

- この度はLEDライト付き2.1chミニスピーカーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に「安全上の注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。

この製品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。

No service is available outside of Japan.

安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



危険

この表示の欄は、「死亡または重症を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容です。



警告

この表示の欄は、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



危険

■絶対に分解したり、改造しない



発火したり、異常動作して、炸裂、けがの原因になります。

■次のような場合、直ちに使用を中止してください。本製品が濡れた場合・内部に異物や液体が入った場合・破損した場合



火災・感電の原因になります。

■濡れた手で本製品に触れない



発熱・感電・故障の原因になります。

■火の中に投入したり、加熱しない



破裂による火災・けがの原因になります。

■水につけたり、水をかけない



ショートして故障の原因になります。

■雷がなっているときに本製品に触れない



落雷により感電するおそれがあります。

■異常・故障時には直ちにご使用を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

■本製品を落下させたり、強い衝撃や圧力を加えない



液漏・発火・炸裂の原因になります。

■本製品に破損・変形などの不具合がある場合は使用しない



発火・感電の原因になります。

■油煙、湯気、湿度、ほこりの多い場所で使用しない




火災・感電・故障の原因になります。


安全上の注意 必ず守ること

警告


- 水滴のかかる状態や湿度の高いところで使用しない

 火災・感電・故障の原因になります。


- 電源プラグは根元まで確実に差し込む

 差し込みが不完全だと感電・火災の原因になります。


- 乳幼児の手の届かないところで使用・保管する

 感電やけがの原因になります。

- お子様が使用するときには保護者が正しい使いかたを十分に教え、使用中も安全に使用しているかを確認する

 感電やけがの原因になります。

- 直射日光が当たるところ、炎天下の車内、火気の周辺など高温になるところ、油煙・ホコリが多いところで使用や保管をしない

 感電・火災・故障の原因になります。

- プラグの先端に指定以外の端子や金属を接触させない。

 故障・感電の原因になります。

- 本製品を長時間使用しないときは、コンセントから抜く


 故障の原因になります。

注意


- 使用中に布団や布などで覆ったり包んだりしない

 火災・けがの原因になります。


- 別売りの充電器やケーブルが傷んでいたら使用しない

 火災・感電・けがの原因になります。


- 電源プラグをコンセントから抜く場合はケーブルをひっぱらずに、必ず電源プラグを持って抜く

 火災・感電・けがの原因になります。


- 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧機器に入れたり、近くに置いたりしない

 火災・感電・けがの原因になります。

- お手入れの際は必ず、電源プラグをコンセントから外す

 火災・感電・けがの原因になります。


- 電源プラグについたホコリはふき取る

 火災・感電・けがの原因になります。


安全上の注意 必ず守ること

注意


■ 医療機器の近くで使わない

 電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。


■ 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

 電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。


■ 大音量で長時間連続使用しない

 聴力障害などの原因になることがあります。

■ 使用開始時はボリュームを下げってから使用する

 突然大きな音が出て、耳をいためる原因になります。

■ 本製品を温度の高くなるストーブ・コンロなどの近くに置かない

 液漏・本体の変形の原因、寿命が短くなることがあります。

使用上の注意

■ 本製品にスマートフォンやゲーム機器を接続する際は、必ず接続機器の注意事項に従ってください。

■ 本製品のプラグが曲がっていたり、本製品の差込口の保持力が極端に弱い状態でのご使用はしないでください。

■ 本製品の使用に関して、お使いの機器のメモリー内容が消去されても保証は一切いたしません。あらかじめご了承ください。

■ 補聴器、ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器に影響を与えるおそれがあります。誤動作による故障や事故の原因になりますので、本製品を近くでは使用しないでください。

■ 本製品の使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。

■ 本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。

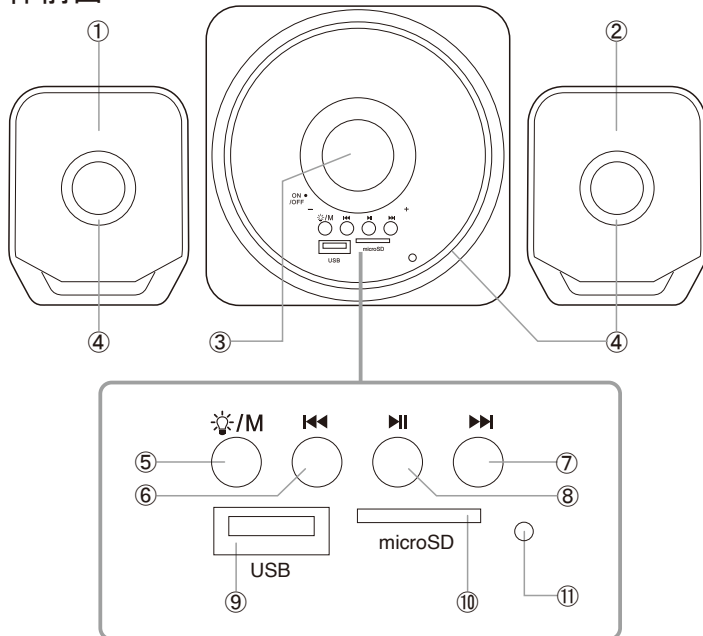
■ 本製品は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

■ 本製品のUSB電源コネクタやオーディオ接続プラグに液体や細かいゴミが付着した状態で使用しないでください。コネクタがショートして発熱・発煙するおそれがあります。

■ 電源をタコ足配線や電源タップを延長させて使用することはお止めください。火災の原因になります。

各部の名称

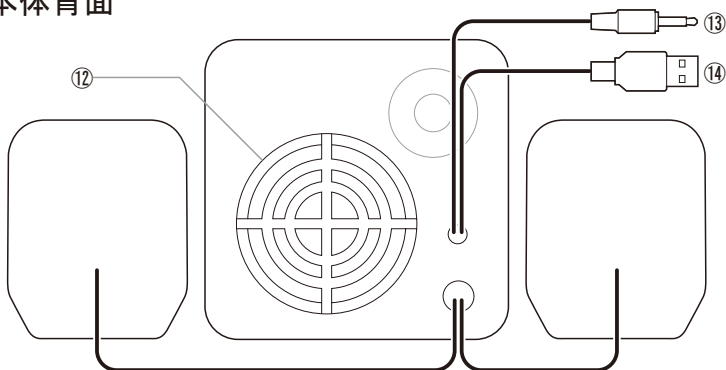
本体前面



- ①左スピーカー(※背面にLのシール)
- ②右スピーカー(※背面にRのシール)
- ③電源 / 音量調節ダイヤル:電源の入切と音量調節を行います。
- ④LEDライト
- ⑤LEDライト切替/入力切替ボタン(☀/M):LEDライト点灯切替/モード入力切替
(Bluetooth⇒AUX⇒FM(※P9参照))を行います。
- ⑥曲戻し/FM局戻しボタン:前の曲を再生します(※AUXモードでは使用できません)。
FMモードでFM放送の選局をします。
- ⑦曲送り/FM局送りボタン:次の曲を再生します(※AUXモードでは使用できません)。
FMモードでFM放送の選局をします。
- ⑧再生/一時停止ボタン:曲を再生/一時停止します(※AUXモードの時は消音になります)。
FMモードでオートプリセットを行います。
- ⑨USB端子:USBメモリを挿入します。
- ⑩microSDカードスロット:microSDカードを挿入します。
- ⑪LEDランプ:Bluetoothモード(ペアリング中:点滅、ペアリング完了:消灯)

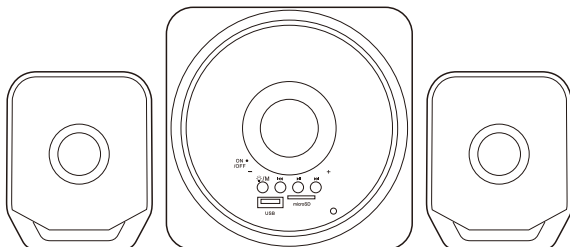
各部の名称

本体背面



- ⑫サブウーファー: 低音を強調して出力します。
- ⑬オーディオ接続プラグ: 外部機器との接続で使用します。
- ⑭USB 電源コネクタ: 本機の電源接続を行います。

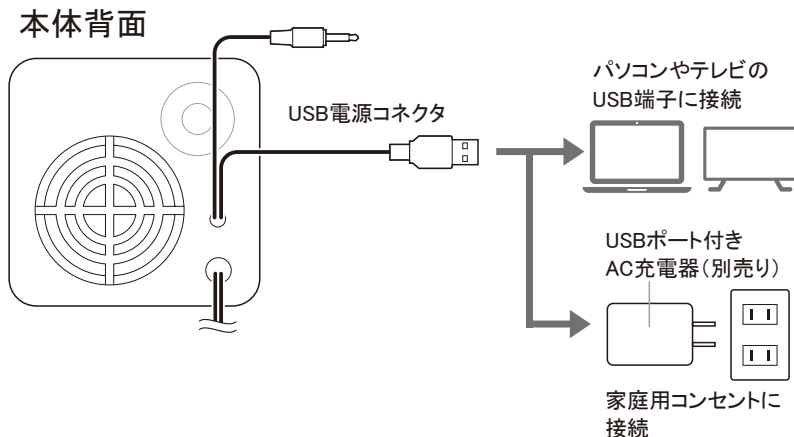
パッケージ内容



- ①スピーカー本体(左右スピーカー／サブウーファー)
- ②取扱説明書兼保証書(本書)

電源の接続

本体背面に付いているUSB電源コネクタをパソコンまたは電源供給可能なUSB端子のあるテレビなどの機器へ接続します。



※市販のUSB ACアダプターをお使いの場合は、出力電流1.5A以上を供給できる機器を使用してください。

※テレビの機種によってはUSBから電源の供給ができない場合があります。

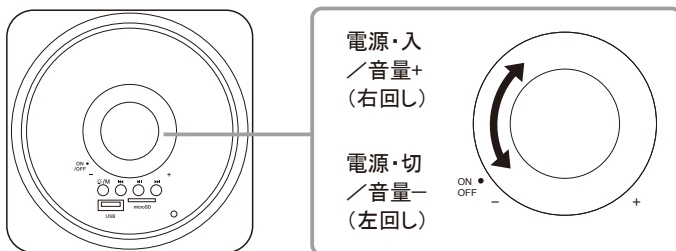
※USB電源コネクタの端子が汚れていると、電源が入らない場合があります。USB電源コネクタの端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。

※汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

使いかた

電源を入れる

- ①本体の電源／音量調節ダイヤルを右回りに回します。
- ②効果音が鳴り、LEDライトが点灯して電源が入ります。



電源／音量調節ダイヤル

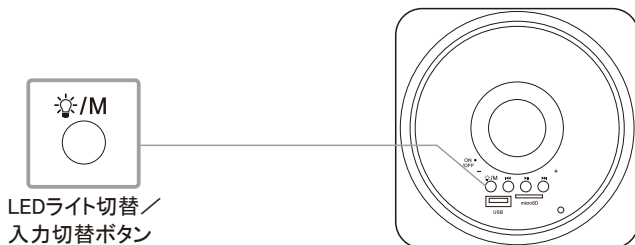
電源を切る

- ①本体の電源／音量調節ダイヤルを左回りに止まるまで回します。
- ②LEDライトが消灯して電源が切れます。

LEDライト切替

電源が入っている状態でLEDライト切替／入力切替ボタン(☀/M)を長押しすることによりLEDライトの消灯／点灯を切り替えます。

※電源を入れた時は常にLEDライトが点灯します。消灯でご使用になる場合は、LEDライト切替／入力切替ボタン(☀/M)を長押ししてください。



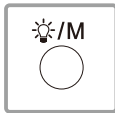
使いかた

入力切替

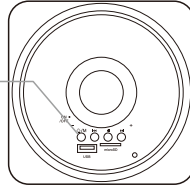
電源を入れると、Bluetoothモードになります。LEDライト切替／入力切替ボタン(☀/M)を短押しするごとに、Bluetooth⇒AUX⇒FMの順で入力切替を循環でおこないます。

※電源を入れたときにUSBメモリまたはSDカードが本体に挿入されている場合は、入力モードはUSBモードまたはSDモードが優先されます。両方が挿入されている場合はUSBモードが優先されます。LEDライト切替／入力切替ボタン(☀/M)を短押しするごとに、USB⇒SD⇒AUX⇒FM⇒Bluetoothの順で入力切替を循環でおこないます。

※USBメモリ、SDカードが挿入されていない場合はUSBモードおよびSDモードは選択できません。Bluetooth⇒AUX⇒FMの順で入力切替を循環でおこないます。



LEDライト切替／
入力切替ボタン



音声アナウンス

入力切替をおこなうと、各モードごとに音声アナウンスが流れます。

“BLUETOOTH MODE”	: Bluetoothモード
“AUX MODE”	: AUXモード
“FM MODE”	: FMモード
“PLAY BY USB DRIVE”	: USBモード
“PLAY BY TF CARD”	: SDモード

※Bluetoothモードではペアリング完了/ペアリング解除で2種類の効果音が鳴ります。

音量調整

電源／音量調節ダイヤルを右回りに回すと音量が大きくなります。

電源／音量調節ダイヤルを左回りに回すと音量が小さくなります。

※音量の上げすぎに十分ご注意ください。

使いかた

Bluetoothモード(接続・再生)

〈ペアリング〉

本製品とBluetooth機器を接続する行為をペアリングといいます。

- ①LEDライト切替／入力切替ボタン(☀/M)を短押ししてBluetoothモードにすると、音声アナウンス“BLUETOOTH MODE(Bluetoothモード)”が流れて、LEDランプが青色に点滅します。
- ②Bluetooth機器(接続する機器)にてペアリングのための操作を行います。Bluetooth機器側で本機を検出した場合、“SPK S50”の名称で表示されます。

使いかた

ペアリング

iPhoneとの接続例

※機種やOSのバージョンによって設定方法は異なります。



- ① iPhoneの画面にある「設定」を選択します。 ②「設定」内の「Bluetooth」をタッチします。



- ③「Bluetooth」の「オフ」の部分タッチまたはスライドさせて「オン」にします。 ④検出されたBluetooth機器がリストに表示されますので、その中から“SPK S50”を選択します。
- ⑤ペアリングが完了すると効果音が鳴り、LEDランプが消灯します。2回目以降のご使用では、電源を入れると最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。電源を切るとBluetooth接続は解除されます。



- ⑥Bluetooth接続を解除したり、登録を削除したい場合は、デバイス名の右をタップして次の画面でいずれかを選択します。Bluetooth接続を解除すると効果音が鳴ります。

使いかた

ペアリング(続き)

Androidスマートフォンとの接続例

※機種やOSのバージョンによって設定方法は異なります。

- ①スマートフォンの画面にある「設定」を選択します。
- ②「設定」内の「機器接続」を選択します。
- ③「機器接続」内の「新しい機器とペア設定する」を選択します。
- ④検出されたBluetooth機器がリストに表示されますので、その中から“SPK S50”を選択します。
- ⑤ペアリングが完了すると効果音が鳴り、LEDランプが消灯します。2回目以降のご使用では、電源を入れると最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。電源を切るとBluetooth接続は解除されます。

※Android端末でデバイス一覧に“SPK S50”がない場合は、スキャンをタップしてください。
※接続がうまくいかなかった場合は、スマートフォンのBluetooth接続を解除して、最初からやり直してください。Bluetooth接続を解除すると効果音が鳴ります。

Bluetooth接続時の音楽再生方法

本体前面のボタンを押して操作できます。

再生/一時停止

音楽再生中に再生/一時停止ボタン(▶||)を押すと一時停止します。
一時停止中に再生/一時停止ボタン(▶||)を押すと、一時停止が解除され、再生を開始します。

曲送り/曲戻し

音楽再生中または一時停止中に曲送り/FM局送りボタン(▶▶)を押すと曲送ります。
音楽再生中または一時停止中に曲戻し/FM局戻しボタン(◀◀)を押すと曲戻します。

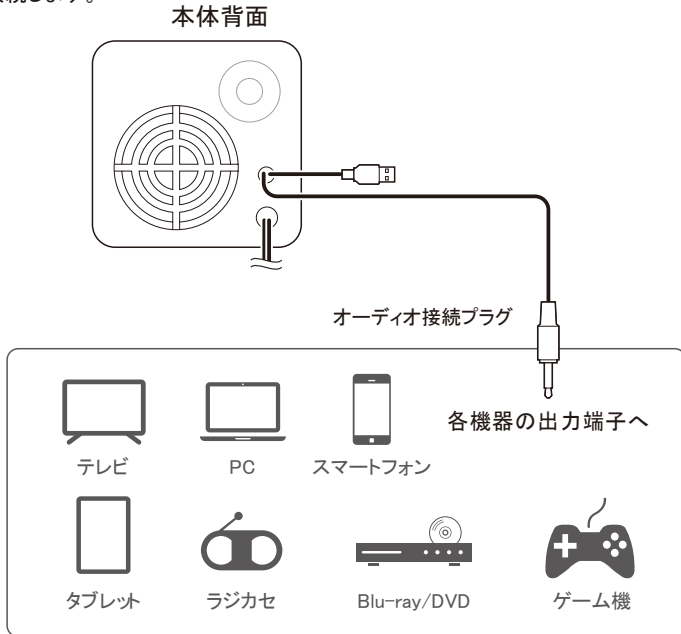
※使用するデバイスのOSやアプリによっては、曲戻しすると1つ前の曲ではなく、曲の頭に
戻る場合があります。

使いかた

AUXモード(外部機器との接続)

本体背面に付いているオーディオ接続プラグを接続して使用することもできます。
3.5mmポートのあるPC、スマートフォン、ゲーム機などと接続します。

- ①本体背面に付いているオーディオ接続プラグを外部機器のイヤホン端子や音声入力端子へ接続します。



- ②LEDライト切替／入力切替ボタン(※/M)を短押ししてAUXモードにすると、音声アナウンス“AUX MODE(AUXモード)”が流れます。
③外部機器側で再生などの操作をおこないます。
④再生中に再生／一時停止ボタン(▶||)を短押しすると、消音となります。再度、同ボタンを押すと、音声が開かれます。

※AUXケーブル接続の際は、スピーカー電源をオフにした状態で接続してください。

接続後、電源をオンにしてご使用ください。

※音量調整、各再生操作は接続したオーディオプレーヤーで行ってください。

※スマートフォンの機種によっては使用できない場合があります。

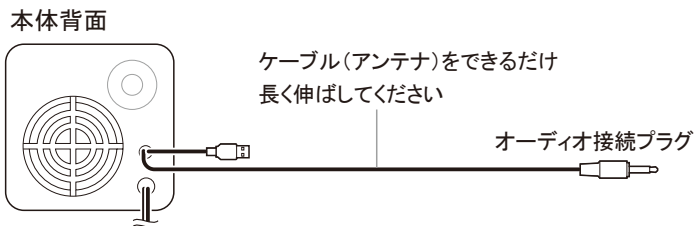
※すべての機器で動作保証するものではありません。

使いかた

FMモード(FMラジオを聴く)

※AMラジオの受信はできません。

- ①本体背面に付いているオーディオ接続プラグのケーブルがアンテナとして機能します。ケーブルをできるだけ長く伸ばした状態で使用してください。



- ②LEDライト切替／入力切替ボタン(☉/FM)を短押ししてFMモードにすると、音声アナウンス“FM MODE (FMモード)”が流れます。
- ③再生／一時停止ボタン(▶||)を長押しすると、受信局検索を開始します。受信可能な放送局を自動的に検索して自動登録します。
- ④登録が終わると、最初に登録された放送局を受信します。
- ⑤曲送り／FM局送りボタン(▶|)、または曲戻し／FM局戻しボタン(|◀)を押して登録された放送局を選局します。
- ⑥ラジオを聴いているときに再生／一時停止ボタン(▶||)を短押しすると、消音となります。再度、同ボタンを押すと、音声が開かれます。

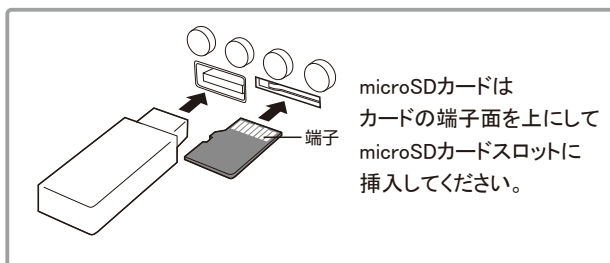
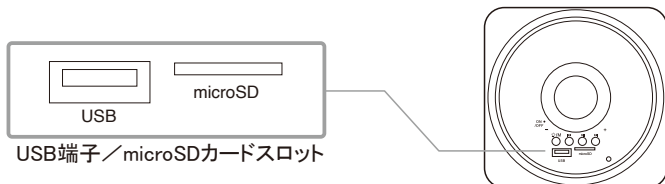
※お住まいの地域、環境によって電波状況が悪く正しく受信、選局できない場合があります。

使いかた

USBモード／SDモード(接続・再生)

USBメモリ(別売り)／microSDカード(別売り)の音楽データ(MP3／WMA)を再生できます。

- ①下図のように本体前面のUSB端子またはmicroSDカードスロットへUSBメモリまたはmicroSDカードを挿入します。



※USB,SD共に
最大32GB対応

- ②LEDライト切替／入力切替ボタン(☀/M)を短押ししてUSBモード／SDモードにすると、音声アナウンス“PLAY BY USB DRIVE”(USBモード)／“PLAY BY TF CARD(SDモード)”が流れて、自動的に音楽再生を開始します。

USBメモリ／microSDカード接続時の音楽再生方法

本体前面のボタンを押して操作できます。

再生／一時停止

音楽再生中に再生／一時停止ボタン(▶||)を押すと一時停止します。

一時停止中に再生／一時停止ボタン(▶||)を押すと、一時停止が解除され、再生を開始します。

曲送り／曲戻し

音楽再生中または一時停止中に曲送り／FM局送りボタン(▶||)を押すと曲送りします。

音楽再生中または一時停止中に曲戻し／FM局戻しボタン(◀||)を押すと曲戻しします。

使いかた

※曲戻しすると1つ前の曲ではなく、曲の頭に戻る場合があります。

※再生中または動作終了直後にUSBメモリ／microSDカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。

※デジタル著作権管理(DRM)されたファイルは再生できません。DRM とは、デジタルデータとして表現されたコンテンツの著作権を保護し、その利用や複製を制御・制限する技術の総称をいいます。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術などが有名ですが、広義には画像ファイルの電子透かしなどもDRMに含まれます。

※音楽再生は、MP3／WMA形式のファイルをパソコンから転送時に、専用ソフトを使って独自の暗号化(著作権保護)を施すもので使用されるファイルを入れたUSBメモリ／microSDカードは本製品では再生できません。

※MP3／WMA形式ファイルは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないことがあります。

※USBメモリ／microSDカードを認識出来ない場合、他のUSBメモリ／microSDカードにコピーしてご確認ください。

使いかた(パソコンで使う)

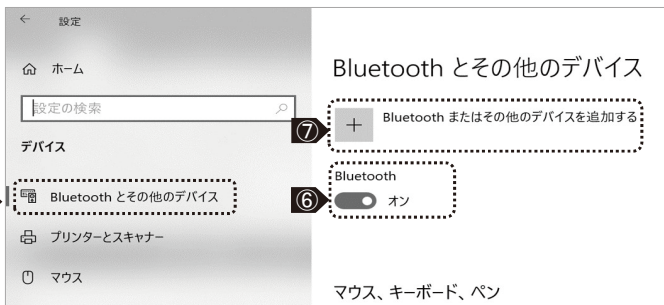
パソコンで使う

Windows 10の場合

- ① LEDライト切替／入力切替ボタン(☼/M)を短押しして Bluetoothモードにすると、音声アナウンス“BLUETOOTH MODE(Bluetoothモード)”が流れて、LEDランプが青色に点滅します。
- ② パソコン画面の左下のWindowsマークをクリックして、スタートメニューを立ち上げます。
- ③ 「設定」をクリックします。④ 「デバイス」をクリックします。



- ⑤ 「Bluetoothとその他のデバイス」をクリックします。
- ⑥ Bluetoothがオンになっていることを確認してください。
- ⑦ 「Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する」をクリックします。



- ⑧ 「デバイスを追加する」の画面が表示されるので、「Bluetooth」をクリックします。



使いかた(パソコンで使う)

⑨“SPK S50”をクリックします。



⑩接続が完了すると、パソコンに右の画面が表示されますので、「完了」をクリックしてください。
※5分以内に接続を完了してください。
※5分以上経過してしまった場合や接続がうまくいかなかった場合は、最初からやり直してください。



⑪音が出ない場合は、パソコンのスピーカーの設定を調整します。
パソコンの左下のスタートボタンから「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックします。
出力で“SPK S50”を選択します。
⑫必要に応じてマスター音量をスライドさせて調整します。



Bluetoothについて

- Bluetooth通信の通信範囲は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合は、無線LAN機器の電源を切るか、10m以上離れた場所でご使用ください。
- Bluetooth対応製品の音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声が入切れることがあります。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本製品は電波法に基づく技術基準に適合していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本製品を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本製品での再生が遅れるため動画視聴時やゲームでのご使用の場合、映像と音声が入ずれることがあります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるまで時間がかかることがあります。

お手入れ

- お手入れする前に、必ずUSB電源からUSB電源コネクタを外してください。
- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞ってお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤・洗剤を使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤や石けん水に浸した柔らかい布をよく絞って汚れをふき取り、柔らかい布でふき取ってください。
- USB電源コネクタにホコリなどが溜らないように定期的にお手入れしてください。ホコリが溜るとショートして発煙、発熱の原因になる恐れがあります。

故障かなと思ったら

本製品の電源が入らない

- USB電源コネクタがしっかり差し込まれているか確認してください。
- 本製品の電源／音量調節ダイヤルを右回りに回して電源を入れてLEDライトが点灯しているか確認してください。
- USB電源コネクタを抜いて電源を切り、数分後に再び電源を入れてください。

音が出ない

- 本製品または接続機器の音量を上げてください。
- 各端子・プラグが正しく接続されているか確認してください。

Bluetooth機器とペアリング(登録)できない

- 本製品と接続している機器の電源を両方とも切り、機器情報(デバイス登録)を削除してから再度Bluetooth接続やペアリングを行なってください。
- 接続するBluetooth機器側の機能が使用可能な状態であることを確認してください。
- 接続するBluetooth機器側が本製品のプロフィールに対応しているか確認してください。
- 接続するBluetooth機器と本製品をなるべく近づけて登録してください。
- ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合があります。再度設定しなおしてください。
- 近くに別のBluetooth機器がある時は、別のBluetooth機器の電源を切るか、その機器から離れた場所で登録してください。
- Bluetooth機器の電源を切り、再度電源を入れ直してお試しください。

Bluetoothの音が途切れる、または音質が劣る

- 接続するBluetooth機器と本製品を近づけて使用してください。
- 接続するBluetooth機器と本製品の間にある障害物を避けてご使用ください。
- 他の無線機器、電子レンジなどの電波干渉機器が近くにある場合があります。干渉の元と思われる機器から離れて使用してください。

Bluetoothの音楽が再生できない

- 接続するBluetooth機器と本製品の電源を入れてください。
- 再度ペアリング(登録)をしてください。
- Bluetooth機器と本製品の音量を大きくして調節してください。Bluetooth機器側で音楽再生ができるかご確認ください。
- ファイルやWebサイトによってBluetoothでの再生をサポートしていない場合があります。
- スマートフォンの仕様により、ダウンロードした動画等の音声はBluetoothでは聴取できない場合があります。

故障かなと思ったら

FMラジオの受信状態が悪い、雑音が多い

- オーディオ接続プラグのケーブルをできるだけ伸ばしてください。また、ケーブルの方向を変えるなど調整してください。
- ドライバー、掃除機、蛍光灯、テレビなど他の電気器具から離してください。


USBメモリ／microSDカードの選曲ができない

- USBメモリ／microSDカードによっては、記録された再生順序を変更できない場合があります。

商品仕様

サイズ	本体(サブウーファー)	約W135 × H140 × D135mm
	スピーカー(1個あたり)	W80 × H100 × D80mm
	総重量	約900g
スピーカー部	最大出力	16W(3W × 2 + 10W)
	インピーダンス	11 Ω
	ユニットサイズ	φ 52mm × 2 + φ 78mm
	再生周波数帯域	120Hz～20KHz
通信仕様	Bluetooth	Ver.5.3
	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
	対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、GAP
	対応コーデック	SBC
	受信距離/送信出力	約10m/Class2
その他	電源	USBポートより給電(DC5V 1.5A)
	消費電力	11W
	FMラジオ	FM76.0 ～108.0MHz
	入出力端子	USB Type-A、AUX、USB、microSD ※USB、SD共に32GBまで対応
	ケーブル長	USB電源コネクタ(USB Type-A) : 約0.95m 左右スピーカーケーブル : 約0.6m AUXケーブル : 約0.95m
付属品	取扱説明書兼保証書	保証期間6ヶ月

製品仕様や材質は予告なく変更する場合がございます。

 国210-207314 本製品は工事設計認証を受けています。